

第2回 沖縄市多職種研修会

「フレーゲオアゼでの毎日～きづき、ひらめき、かがやき～」

実施報告

日時：令和2年2月18日（火曜日）

【第1部】15：00～17：00 【第2部】19：00～21：00

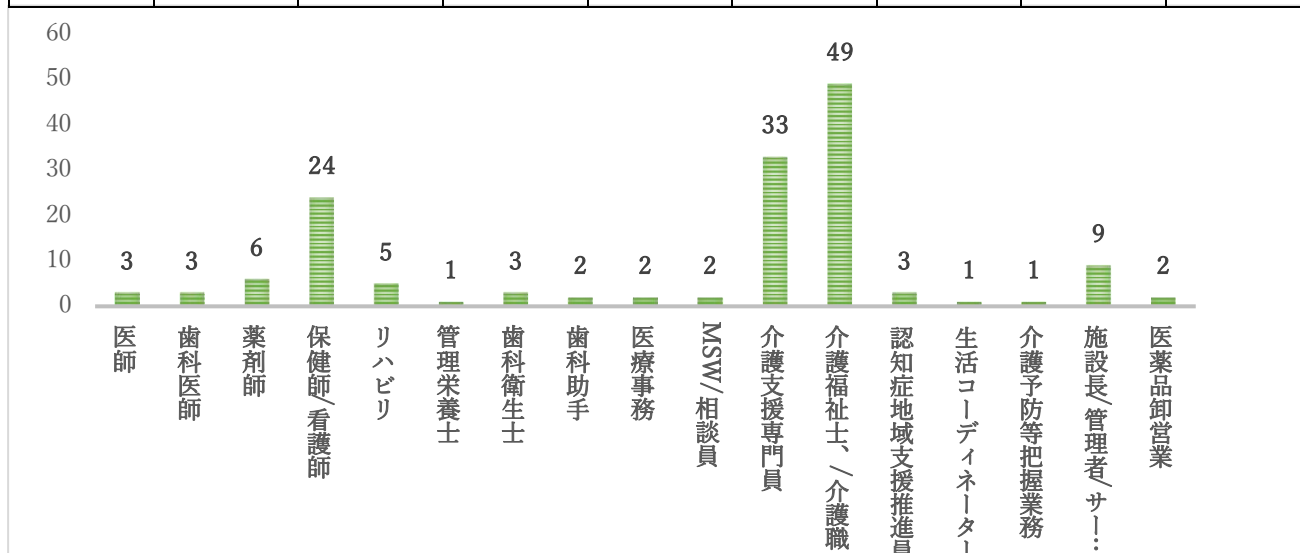
場所：沖縄市産業交流センター

1.参加人数：第1部93人 第2部59人 計152人（内訳）

沖縄市	うるま市	嘉手納町	北谷町	読谷村	西原町	那覇市	糸満市	回答なし
85	5	1	1	1	1	2	1	7

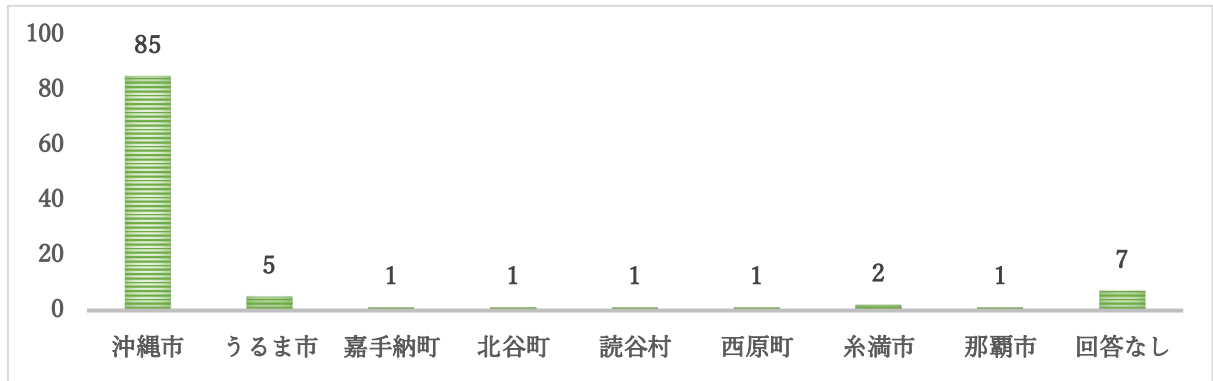
2.参加職種（内訳）

医師	歯科医師	薬剤師	保健師/ 看護師	リハビリ	管理 栄養士	歯科 衛生士	歯科助手	医療事務
3	3	6	24	5	1	3	2	2
MSW/ 相談員	介護支援 専門員	介護福祉 士、/介護職	認知症地域 支援推進員	生活コーデ イネーター	介護予防 等把握業 務	施設長/管理 者/サービ ス提供責任者	医薬品 卸営業	
2	33	49	3	1	1	9	2	

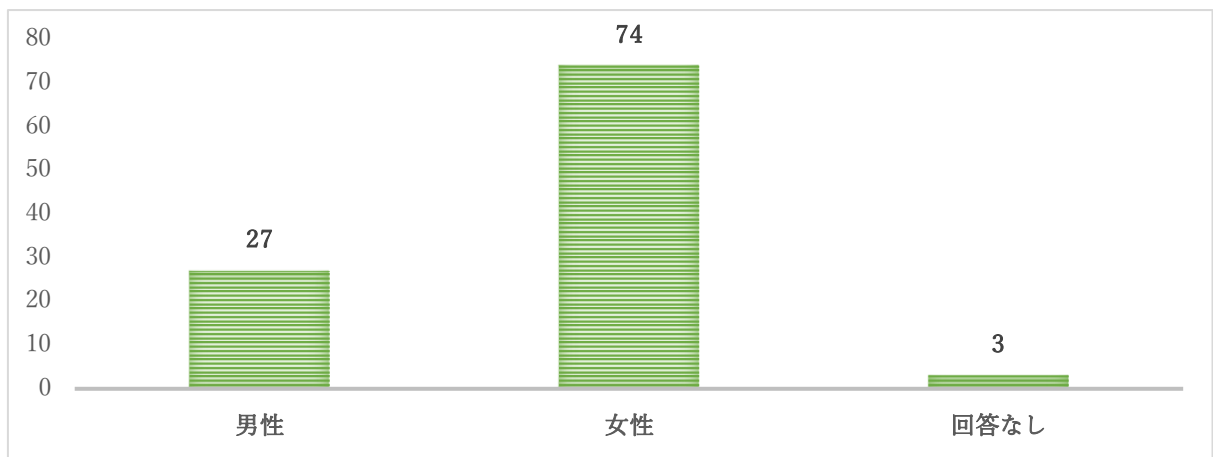


3.アンケート回答者数：104名（回収率：68.4%）

4.所在地：沖縄市 85名、市外 19名

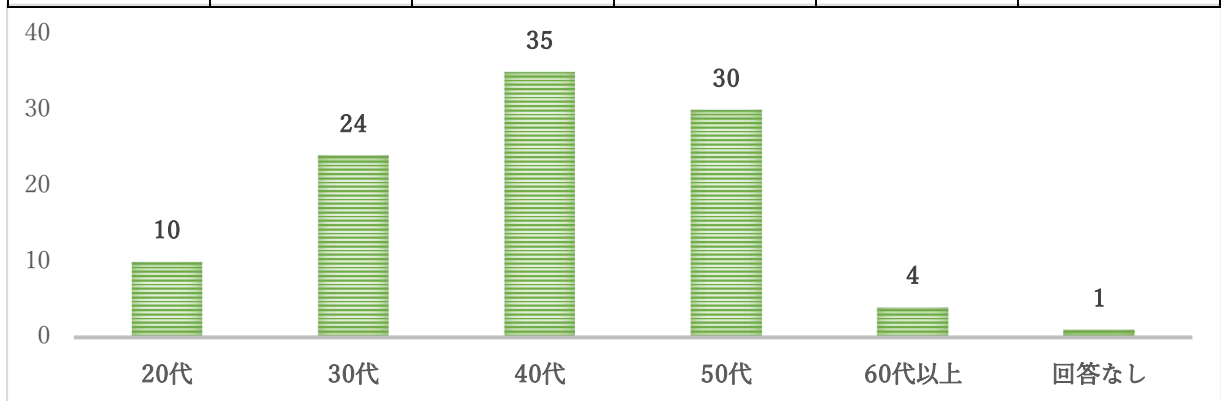


5.性別：男性 27名、女性 74名 回答なし 3名



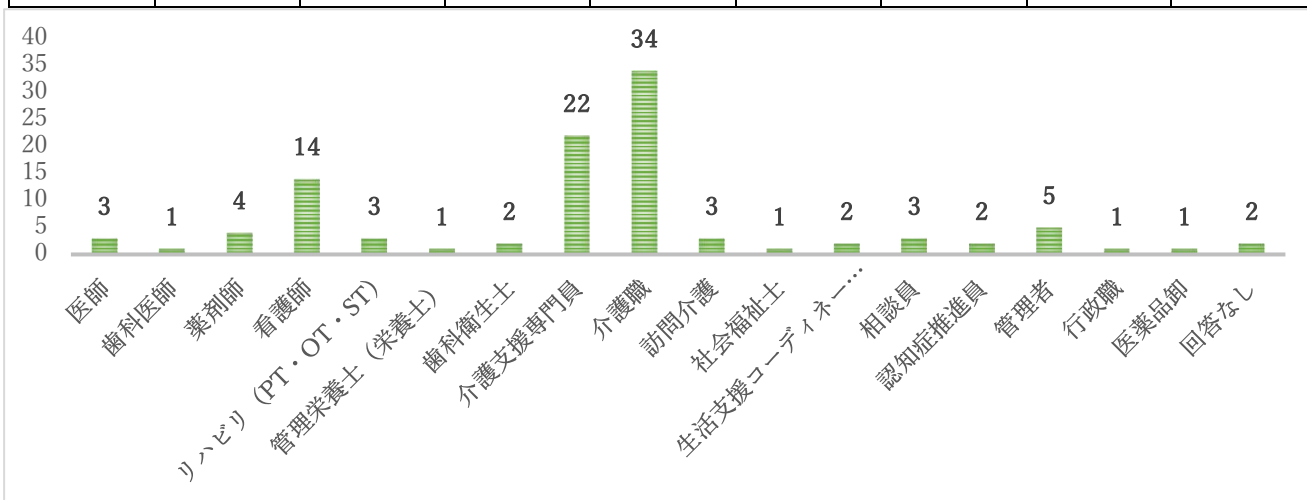
6.年齢：

20代	30代	40代	50代	60代以上	回答なし
10	24	35	30	4	1



7.職種：

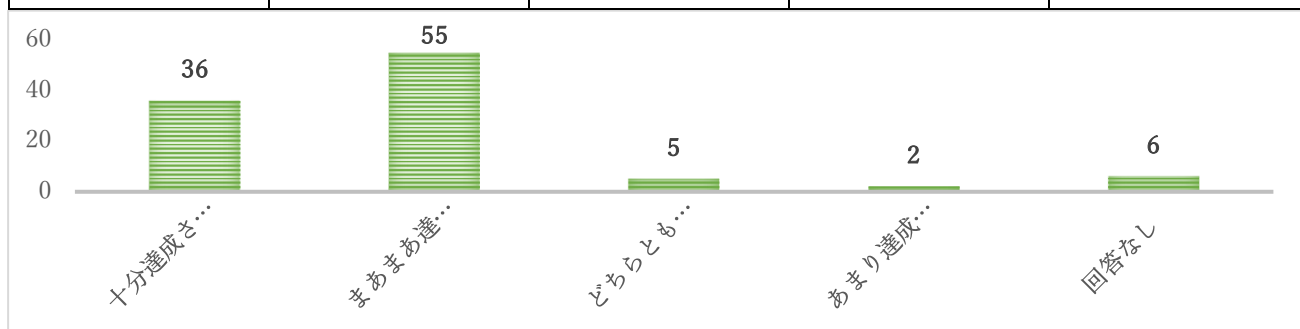
医師	歯科医師	薬剤師	看護師	リハビリ	管理栄養士 (栄養士)	歯科衛生士	介護支援 専門員	介護職
3	1	4	14	3	1	2	22	34
訪問介護	社会福祉士	生活支援コー ディネーター	相談員	認知症 推進員	管理者	行政職	医薬品卸	回答なし
3	1	2	3	2	5	1	1	2



○介護福祉士/介護職の割合が 32.9%。介護支援専門員 22.1%であった

8.研修の参加目的について

十分達成された	まあまあ 達成された	どちらとも いえない	あまり達成 されなかった	回答なし
36	55	5	2	6

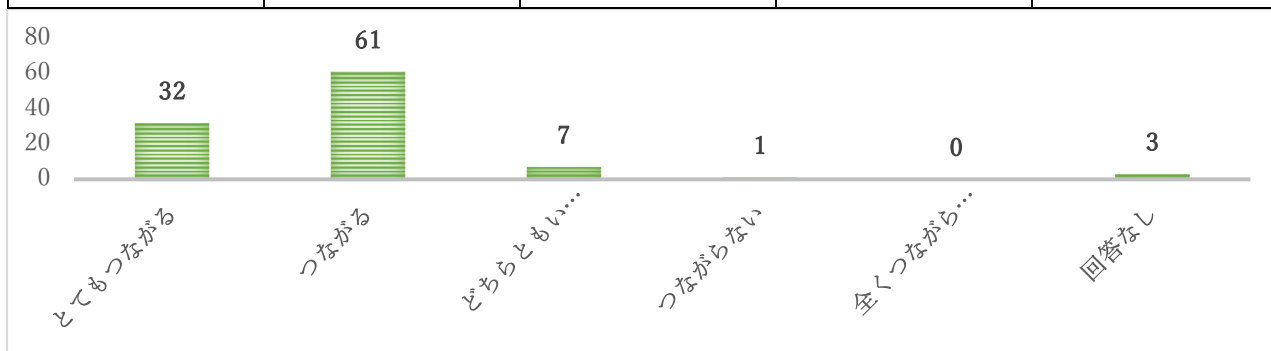


○「十分達成された」という回答が 36.7%、「まあまあ達成された」という回答が 56.1%であった。

○「どちらともいえない」5.1%、「あまり達成されなかった」と回答した方が 2%であった

9.研修内容は今後の仕事の改善や向上につながると感じますか？

とてもつながる	つながる	どちらともいえない	全く つながらない	無回答
32	61	7	0	3



10.「医療・介護」連携で困っていることはありますか。(複数回答)

入退院支援連 携について	摂食・嚥下に関する ケアについて	栄養に関する こと	リハビリに関 すること	看取りなど終 末期に関する こと	その他
27	28	17	25	34	11

<その他意見>

家族はいるが関わろうとしない。支援者がいない。その時誰にどこに相談してよいかわからない
介護の本質であるかかわるを大事に業務改善をしていきたい。

職員が足りない。集まらない。

精神的に不安になったときの対応方法。アロマで落ち着いてきたりするのか試したいと思った。

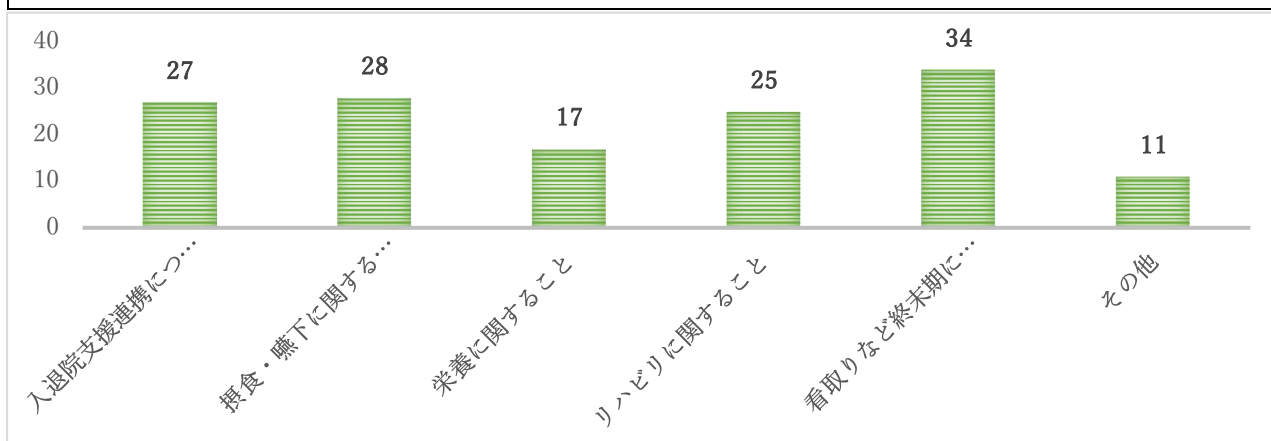
利用者の方を介護保険サービスにつなげることに困っている

認知症の方の対応

医療訪問看護の導入がおそい

主治医との具体的な連携の取り方

個々の利用者との接し方。



11. 研修の感想、ご要望ありましたらご記入ください。(原文)

1. “できるだけ医療保険を使わず、その前にエッセンシャルオイルでできることをする”という話は、とても共感しました。私もインフルエンザや風邪予防で、寝る前にアロマディフューザーで、ラベンダー&オレンジを使い始めてから、ひかなくなりましたので、エッセンシャルオイル（精油）で予防医学はできると思います。どの施設も取り入れたほうが良いと思っています。
2. 「寄り添いながら生きていくことを感じる」心にささりました。
3. 「自分が受け入れられている」と感じてもらえるようなケアをしていきたいです。
4. 「受け入れられていると思われるということが大事」という言葉が印象に残りました。ありがとうございます。認知症の方の気持ちや考えていることはなかなか理解できない時がありますが、方法は一つではないので、いろいろなことを模索し、それぞれの方に受け入れられるよう頑張りたいとおもいました。
5. ・スイスの介護の現状がよくわかり、認知症やホスピスの方への寄り添い方～どうやっていいのか？の一つの選択となって、今後の業務に生かしていければと思います。
6. ・型にとらわれないケアをすることによって、ケアされる人、する人が気持ちよく過ぐす。・こうあるべき！！ではなく、相手一人一人に合うケアをしていくことを感じました。(私疲れているのかな？) (^)
7. ・言葉が通じない←国籍関係なく同じ沖縄人でもいる。いつも疲れる。熱意をもって伝えるように頑張りたいです。
8. アロマいいですね。楽しくあつという間に時間がたちました。ありがとうございます。
9. アロマオイルが医療に使用されていることにすごくびっくりしました。
10. アロマオイルが好きなので日常的に使っていますが、体に塗ることは新鮮でした。足浴や手浴の際に試してみたいと思いました。(まずは家庭から(^))
11. アロマに関してもう少し勉強したいと思いました。
12. アロマのこと、見直したというか、使い方を改めてみたいなと思いました。ありがとうございます。
13. アロマのヒントは良かった。
14. アロマの種類の多さにびっくりしました。日本にもあったらいいと思いました。
15. アロマ清拭にはいい方法だと感じました。スキンシップが少ない日本では・・・しんせん。
16. アロマ体験、においの大事なことがすごくわかりました。アロマで、体へ触れることができコミュニケーションづくりもできて素晴らしいと思います。
17. オアゼでの住人さんとの接し方についてとても参考になりました。
18. オイルが気になりました。実際の効果はどのくらいなのか知りたくなりました。アロマオイルの使用方法がいろいろな形があるのが興味あります。

19. オイル使用での在宅介護見たことがあります。発赤等に使用されておりました。アロマオイルの様々な仕様の仕方はすごいです。患者さんに対する接し方も良かったです。
20. グループ内いろいろな話が聞けたので良かったです。
21. ケアの対象者との関わりの中で、ケアの必要性やその方とのふれあい方を考える場面があります。その中で、今日の研修会で「人」と「人」との触れ合うことの大切さや自らのケアにもっと自信が持てるようになりたいなと思いました。
22. ケアを拒否される入居差様に悩んでいます。「こわい」「何でこんなことするの？」から始まり対応も共有し工夫中です。今日アロマの効果の話を聞き、違う視点から考えることができました。五感から入っていることのポイントを学びました。
23. スイスにおいて、入浴をしたがらないひが多いことや、検温はほとんど行わない等、おどろきでした。
24. スイスの介護の様子を知ることができたが、実際に事務所に持ち帰って活かすのは難しい。研修というよりは講話に近いと感じた。あと、研修案内でももう少し研修内容がわかるようにしてくれたら助かります。
25. スキンシップの大切さを改めて実感しました。ありがとうございました。
26. スライドが見えづらくもったいなかったです。
27. スライドが字が見えなかった。
28. その人の存在が大切で有ることがわかっていること、いつに生きていても受け入れられていることを、関わる利用者・家族・周りの方に伝えるように願いつつ、関わっていきたいと思います。聖者の教えに通じるなと思います。信頼をえられるようにというものの方向性はかわらないことだと思いました。
29. たくさんのヒントをいただきました。
30. とても良かったです。アロマオイルはいいと思った。
31. どの国でも心は一緒。何をしてほしいのか、その方とコミュニケーションが大切。”手”のぬくもりはいいですね。私は母を認知症末期ホスピスにやり笑顔で旅立ちました。全身マッサージを手でしてましたのでつつるお肌でした。
32. プロジェクターが少し小さくて遠くからは見えにくかった。
33. もう少し、スイスの認知症の話が聞きたかったです。アロマは職場で施行出来たらよいと思います。
34. 介護技術を学びたい。
35. 外国のことを聞けてよかった。考え方など、日本とは違うところもあり良かったです。
36. 各施設によって、役割があり、そのなかでの人（利用者）とのかかわりを大事にしていきたいと思いました。忙しい中で、少しでも、流れ作業のように思っている自分と向き合って努めていきたいと思いました。
37. 患者さんの基本的なケアに多職種で取り組んでいてとても考えさせられました。またケアも薬に頼らないという姿勢も良いと感じました。

38. 患者を一人の人としてみて、気づいてケアをしていくことの大切さを学びました。ありがとうございました。
39. 研修に来てお話が聞けてこれからの仕事で生かしていきたいと思います。
40. 研修会に参加して、日々業務に追われ、利用者さんとゆっくり接する時間などが少なく今日の勉強会に参加して、ゆとりの時間を作って利用者さんとゆっくり接する時間を作らないといけないと感じました。アロマもいろいろな種類があり、とても勉強になりました。日本でもアロマが保険で対応できたらもっといい支援が受けられる利用者さんもいるのでは？
41. 言語ではなく肌で伝え、伝わるケアについて話が聞けて良かったです。
42. 口腔ケアについて、中性洗剤や歯磨き粉でつけおきするというところを実施していましたが、アロマオイルで洗う方法もあるということが知れました。中性洗剤でもカビが落ちることを最近知ったんですが、アロマは香もありカビも落ちるし良い考えだなと感じました。
43. 国が違うとケアの方法もかわるけど、利用者一人ひとりに対する思い、行動は一緒だと感動しました。
44. 国が違って、利用者を一人の人間として接してあげること。
45. 国外の医療介護のことが現場視点で触れることができました。スイスのようにいろいろ柔軟に対応していければいいなと感じました。ありがとうございました。
46. 今回の研修を通して国の違い、医療ケアの内容は違いましたが、患者様-認知症のある方を人として尊重することは変わらないと感じました。そこには気づくこと、ふれあいを持つことなど、いろいろなりハビリがあると学ぶことができました。本当に今日はありがとうございました。
47. 今後も日本では高齢者が増えるにつれて、緩和ケア、終末期のケア発展があるのではないかと思います。国によって人の心のあり方、物事の受け止め方は変わりますが、ケアそのものの考え方はどの国でもあまり変わらないと思います。
48. 仕事内容、介護のことをもっと聞きたかった。
49. 思いがこもった講演でとても良かったです。ありがとうございました。
50. 支援する立場にてとても学びの機会になりました。
51. 私達のデイでも、一日で楽しく毎日笑え声の絶えないデイサービスをこれからも続けていきたいと再度実感しました。
52. 実際にアロマに触れられ、いろんな使用方法があることを知れてよかった。(清拭用や口腔ケア用など) スイスのケアについて話が聞けて貴重な経験になりました。
53. 終末期→コーラで口を洗う。赤ちゃんにいいもの→認知症にもよいのでは。印象に残りました。
54. 住人さんと、近い距離で接し、ぬくもりをお互い感じながら、お手伝いさせてもらっているという気持ちを忘れずに、お仕事されていることを聞いて、日々の忙しさに追

われ、大切なことを私は忘れていたのかも気づかされました。

55. 色々な職種の方とご一緒できてよかったです。
56. 清拭にアロマを使用してみたいと思いました。アロマの使用方法に勉強になりました。
57. 送れてしまい、途中からの参加だったので、次回機会があれば最初から参加したい。日ごろのケアを通して、“人”として見るという大事さが改めて感じた。また、アロマオイルを使用してのいろいろな方法があるということが知れて良かった。良い香りの中、いやされました。ありがとうございました。(^^)
58. 他国の介護ケアがみられてとても良かった。アロマが保険きくのにびっくりした。
59. 他国の福祉施設について知る良い機会となった。
60. 他国の話を聞き、楽しみながら研修を受け切れました。アロマに関しても興味を持つことができました。ありがとうございました。
61. 多職種連携が大切と感じた。顔が見えて本音で言えるまがあると感じた。知ること大切さを感じました。
62. 日中の活動等知りたい。いろいろなケアがあると実感しました。ありがとうございました。
63. 日本と外国の違いについて具体的に知ることができました。どちらの良さもあり、課題もあると感じました。今後の仕事の現場で、もう少し、今よりもより良く関わっていけるよう考えていく必要があると思いました。アロマも処方されることにおどろきでした。
64. 認知症の方への対応方法や事例などもっと聞きたかった。
65. 認知症の方も、そうでない人も、受け入れてもらえていると感じてもらえる関係づくりできれば、短時間でもそう思ってもらえる対応ができると良いなと思います。
66. 認知症の方々に対する口腔ケア。
67. 普段と少し違った内容でそれもとても良かったです。時間が2つから選べるのも良かったです。
68. 褥瘡に使用するアロマ等どのようなアロマが使われているか知りたいです。

12. 結果・考察

研修会開催にあたり、海外での認知症ケア、施設入所者へ取り組みとしてターゲットを介護職とし多くの介護職が参加し易いよう時間帯をわけた構成とした。周知方法として沖縄市内の医療・介護施設の 500 施設へ文書郵送、各職能団体の会員への周知依頼、近隣市町村への周知、当会ホームページやメーリングリスト登録者へ行った結果、各回定員 100 名に対し 179 人の申し込みがあり 1 部 117 人（全体の 65.4%）2 部 62 人（全体の 34.6%）と 1 部の時間帯（15:00~17:00）の申し込みが多かった。参加者は 1 部 93 人、2 部 59 人計 152 人であり、目標としている各回参加人数 100 人を下回った。

申し込み名簿からみると参加者では市内事業所等からの参加者が 89.4%。職種でみると介護福祉士/介護職の割合が 32.9%。介護支援専門員 22.1%であった。全体の 64.4%が介護、福祉系参加者、医療系が 35.6%あったことから、介護系の意識の高さが伺える。

アンケート結果から、参加目的として「十分達成された・まあまあ達成された」が 92.9%、今後の仕事の改善や向上につながる事について「つながる・とてもつながる」が 92.1%と高かった。専門職が課題に感じていることとして、一番多い回答が看取り支援 23.9%であり、次いで摂食・嚥下に関するケアについて 19.7%、入退院支援連携 19.0%であった。今後の在宅医療・介護連携推進事業において検討事項としたい。

【研修会の様子】

